福ぶらルートとスポット情報

※『福ぶら』での「難易度」は、移動距離が多いほど難しいという事で設定されています。
※シナリオが別々で重複しているスポットは、どこかのシナリオで一度行ったことがあれば
　他のシナリオでも既に行ったという扱いになります。

福岡銘菓	みどころ	福岡のおいしいものといえば、明太子、ラーメン、水炊きなどが有名です。 しかし、まんじゅう発祥の地でもある福岡は昔から海外との交流が 盛んなこともあり、美味しい和菓子も沢山。 和洋折衷、いろいろなお菓子を見て食べて楽しむことができるルートです。
	難易度（5段階）	★
	所要時間	1時間半～3時間
	ルート	承天寺→松屋本店→明月堂川端店→石村萬盛堂本店→東雲堂本店

【ストーリー】
幼少の頃両親を亡くし、ショックでその頃の記憶の無い主人公「斎藤樫尾」。
彼の記憶に残っているのは、甘いお菓子の記憶と、「忘れ物」。
可愛がってくれた育ての親が相次いで亡くなった夏、初めてふるさとの福岡を訪ねてみようと思い立つ。
旅の無事を祈るために立ち寄った承天寺で、思わぬ記憶が蘇る。確かに自分が福岡に住んでいたという確信を得た彼は、
甘いお菓子の味で無くした記憶を取り戻していく。そして彼の「忘れ物」も…。

怪獣来襲	みどころ	福岡は特撮怪獣映画で、有名な怪獣に何度も街を破壊されています。 その本物の舞台を楽しんでいただくために、実際に映画の舞台となった場所を 巡り、建物と怪獣とのリアルな対比などを楽しんでいただけるようなルートです。
	難易度（5段階）	★
	所要時間	1時間半～3時間
	ルート	福岡パルコ→アクロス福岡→福博であい橋→福岡Yahoo!JAPANドーム →福岡タワー

【ストーリー】
怪獣特撮マニアから足を洗えない、独身で40歳手前の「ゴロー」。そんな彼が、何かを「福岡」で探して欲しいと自分に頼む
女性の夢を見た。腕に赤子のようなものを抱えた女性を見て、ゴローは「自分の将来の嫁かもしれない」と思い込む。
福岡は数々の特撮映画の中で怪獣に蹂躙された土地である。彼はその撮影場所も回ることにして、軽い気持ちで
福岡へ乗り込んだ。
しかしそこに待っていたのは、子供ではない「あるもの」を抱えた女性だった。

いつでも山笠体験	みどころ	夏といえば、福岡では博多祇園山笠。 その山笠が一年中見られる施設や山笠の歴史を知ることができる資料館など、 このルートを回ることで、夏以外でも山笠を身近に体験することができます。
	難易度（5段階）	★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	承天寺→博多川端商店街→「博多町家」ふるさと館→櫛田神社→福岡市博物館

【ストーリー】
市内の高校に通う、「瑛太」。彼のクラスに、都会から転校生がやって来た。ぶっきらぼうで無愛想な転校生の「悟」は、
まったく心を開こうとしない。
山笠の先輩でもある尊敬する先生から転校生の世話を頼まれた瑛太は、しぶしぶながらも悟に声を掛けるが、
誰が好きでこんな街に来るものかと馬鹿にされる。山笠を引き合いに出し、福岡の良さを伝えようとする瑛太に向かって
悟は、それなら山笠に連れて行け、と言う。しかし、今は山笠のシーズンではない。
シーズンではなくても山笠を楽しめる場所を回り、二人は徐々に打ち解けるかのように思えたが、
そこに至るまでには大きな壁があったのだった。

幕末武士	みどころ	福岡の幕末といってピンもと来ない方も多いかと思いますが、高杉晋作が 隠れていた家があったり、坂本竜馬が作ったとされている薩長同盟の起草文を、 実は福岡藩の人物が書いたという話もあります。 幕末の歴史認識が改められることうけあいなルートです。
	難易度(5段階)	★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	平尾山荘→少林寺→平野神社→福岡城跡

【ストーリー】
俗に言う歴女である「松本紗枝」、彼女が今夢中なのが幕末。
そんな折、京都旅行の際に撮った写真から、人間ではないものが写っている写真を見つける。
なんとその写真からどろんと出てきたのは、幕末の福岡藩にいたという志士の「栄次郎」という名の武士だった。
幕府は倒れ、福岡藩はなくなったと説明する彼女だったが、幽霊の栄次郎は信じようとしない。なんとか彼を納得させるべく、
記憶の残っている場所を巡ることにする。回るうちに、幽霊と人間の二人は幕末の福岡の歴史を知ることになる。
そして紗枝には栄次郎への特別な想いが芽生えてしまい…

見晴らしのいい場所	みどころ	福岡で「見晴らしのいい場所」といえば「福岡タワー」が真っ先に思い浮かびますが、 それ以外にも絶景を楽しめる見晴らしのいいスポットがあります。 このルートを回ることで、様々なところから福岡を一望することができます。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	福岡タワー→愛宕神社→博多ポートタワー→アクロス福岡

【ストーリー】
『アガルマトフィリア』『スタチューフィリア』。この呪文のような言葉は、その時の私たち2人しか知らなかった。
それがきっかけで特別な友達になった「カズミ」と「カスミ」。カスミには、空に浮く青いガラスの城が見えることがあるという。
その城を探すべく、二人は「見晴らしのいい場所」を探しに出かけた。誰にでもあった、思春期のころのお話。

魚大好き	みどころ	獲れたての魚介類を味わえる市場を回り、福岡近海で見られる魚を見物できる 水族館を回ります。 福岡の美味しい魚を食べ、実際に泳ぐ魚も見物できるという、まさしく魚が好きな方に おすすめする、ひとつのルートで2度おいしいルートになっています。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間～3時間半
	ルート	福岡市鮮魚市場→柳橋連合市場→ベイサイド博多埠頭→マリンワールド

【ストーリー】
ある日、電柱の影にうずくまる老人を助けた「アズキ」。オスの野良猫である。なんと助けた老人は神様だという。
助けてもらったお礼にと、かねてよりアズキが思っていた「人間になりたい」という願いをかなえてもらう。
おいしい魚が食べられる市場を回り満足したアズキは、そこで以前にケガの手当てをしてもらった少女「サヨリ」と出会う。
落ち込んでいる彼女を励まそうと、魚を見られるおすすめの場所へつれていくアズキ。しかし、そこでアズキの正体が…

元寇	みどころ	歴史の授業で一度は習う「元寇」。日本を2度にわたって元より守りぬいたことで 有名ですが、実際に「防塁跡」として、歴史に名を刻んでいる場所が福岡には 残っています。約700年前の痕跡を間近に触り、いかにして元を撃退したかといった 歴史にも詳しくなれるルートです。
	難易度(5段階)	★★★
	所要時間	2時間半～4時間
	ルート	筥崎宮→東公園→元寇防塁(西新地区)→福岡市博物館

【ストーリー】
大学で昼食を取るためにキャンパスを歩いていた青年、「槙」。いつもランチを取るお気に入りの場所に、武士のような
格好をした男がいた。関わらないようにしようとしたもののうっかり呼び止められてしまい、話を聞くことになってしまう。
彼は、文永の時代、元の襲来から福岡を守っていたというのだ。
どうやら時間を越えて来てしまった武士「時房」を元の時代に戻すべく、元寇と関わりの深い場所を探す二人。
今時の草食系男子の槙に対して良い印象を持たない時房、自分を子供扱いし坊主呼ばわりされ、何に対しても熱く語る時房に
引き気味の槙。二人が理解し合え、時房が無事にもとの時代に戻れる時は来るのだろうか？

廃線の旅	みどころ	新しいものができる度、なくなっていくものがある。福岡が近代化するつれ、 無くなっていった鉄道の跡を巡るルートです。 その跡は、記念としてはっきり残っているものや、言われないと分からない 隠れた形跡など、様々なかたちで残っています。鉄道ファンの方はもちろん、 昔の福岡をご存知の方にも懐かしんでいただけるルートです。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	3時間～4時間半
	ルート	筑前箕島駅跡→梅公園緑道→博多ポートタワー→博多臨港線踏切跡→馬出電停跡

【ストーリー】
「智、生きているうちだけが花じゃない、なくなってしまっても、偲ばれることが花なんだ。」
鉄道員だった祖父の影響を受け、鉄道、その中でも廃線を好むようになった。40歳になった今年、彼は祖父と最後に見た
廃線跡を探す旅に出た。流されるまま生きている自分は、祖父のように何かを残すことができるのだろうか。
自分を見つめなおすために、彼は祖父との思い出を巡る。

パワースポット	みどころ	博多の総鎮守から美味しい水をいただけるスポットまで、 福岡で神様からのご利益を授かりたい方はまずここを回るべし！といった場所を 巡ります。 感謝を忘れずお参りすれば、きっと恩恵を授かることができる、有難いスポットです。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	3時間～4時間半
	ルート	櫛田神社→住吉神社→筥崎宮→不老水→香椎宮

【ストーリー】
28歳のOL「新宮マイ」は、職場の大先輩が結婚したことにあせっていた。ブーケトスをしっかりもらった彼女は、その先輩から
結婚にいたる秘訣を聞く。それは、なんとパワースポット巡りだという。先輩との協議の結果、行き先は福岡と決定した。
まずは博多の総鎮守の櫛田神社へ挨拶を済ませ、恵方盤を携帯で撮影しようとした際だった。
上を向きすぎてひっくりこけそうになった彼女を支える手。パワースポットのご利益はいかに？

近代建築を訪ねて	みどころ	最新のビルが立ち並ぶ中、街中に現役で佇む、当時のままのノスタルジックな近代建築。 福岡にはそのイメージがあまりないかもしれませんが、実は街中に意外と 潜んでいるのです。 外観だけでなく、全てのスポットにおいて内部も見学できるというところも魅力です。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間半
	ルート	九州大学箱崎キャンパス→西南学院大学博物館→旧福岡県公会堂貴賓館 →福岡市赤煉瓦文化館

【ストーリー】
物の話を聞くことが出来るという不思議な力を持つ少年「カイ」と、ひょんなことからその力のことを知った少女「マナ」。
マナの家には、サビているわけでもないのに、開かない古い小箱があった。マナは、この小箱に何かの意思を感じていた。
カイに、この小箱から話を聞いて欲しいと頼むと、その小箱は九州大学の正門へ行きたいと言っているらしい。
こうして二人は、箱のメッセージが導くまま福岡の建物を巡ることになる。箱が開かなかった理由には、ある物語が…

＜Ver.1.1より追加のシナリオ＞

癒しスポット	みどころ	仕事に行って、家に帰って、また仕事。休みの日にリフレッシュしたくても、 できれば遠出はしたくない… そんなお疲れの現代人におすすめな、水と緑のパワーを得られる、隠れた ヒーリングスポットばかりを集めました。 都心から少し足を伸ばすだけで行けてしまうこのルートは、都会の喧騒を忘れて のんびりした時間を過ごすのに最適です。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間
	ルート	松風園→友泉亭公園→アクロス福岡→福博であい橋

【ストーリー】
仕事に追いまくられて心休まる日々のないOL、「才谷素子」。ある日、とんでもなく大きな失敗をしてしまい、帰り道には
と雨に降られ、ことん落ち込んでしまう。そんな時に見つけた『癒しスポット』の特集記事。
仕事への意欲が失われかけていた彼女は、英気を養うため、休日にそのスポットを巡ることにした。
しかし職業病から仕事のことが気になり、なかなか手放しでは休めない彼女。ついつい携帯で連絡をとってみたり、
掛かってくる電話を無視できずにいた。彼女のリフレッシュ作戦は果たして成功するのか！？

悲劇のヒロイン	みどころ	夏といえば、ちょっぴりこわーい話が聞きたくなるもの。福岡にも、そんな場所があることを ご存知ですか？ その中でも、悲しい運命に翻弄された、美しい女性にまつわるスポットを厳選しました。 なんと、あの安倍晴明が立ち寄ったといわれる場所も！ ミステリースポットがお好きな方に是非お勧めしたいルートです。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	3時間半～4時間
	ルート	米一丸の塔→十六宵遺跡　鏡の井→濡衣塚→天神中央公園→福岡城跡

【ストーリー】
「死んだ人はどこに行くんだろう？」
若くして死んでしまった母のことを思い、「鈴木正治」は、沈んだ気持ちからなかなか抜け出せないでいた。
まったく覇気のない状態の彼を見かねて、学生時代の先輩が電話をかけてきてくれた。幽霊でもいいからもう一度
母に会いたいと願う彼に、幽霊の話をしていたらもしかして寄って来てくれるかもしれない、と提案する。
その案に乗り、福岡市内で有名な幽霊話が残っている場所を巡ることにした。
しかも、美女で有名なスポットばかりだという。母にもう一度会う、その願いは叶うのだろうか。

島への船旅	みどころ	自然いっぱいの離島で、森と海の恵みを楽しみながら休日を過ごす。 忙しい中、そんなことは無理と諦めている方は必見。 なんと、そんな場所が西区の渡船場から10分で行ける場所にあるのです！日帰りだって できてしまいます。ちょっとした旅の気分を、気軽に味わえるルートです。
	難易度（5段階）	★★★★
	所要時間	4時間～5時間
	ルート	姪浜旅客待合所→能古旅客待合所→白髭神社→のこのしまアイランドパーク →能古博物館

【ストーリー】
「飯島孝一」は、大学4年、就職活動真っ最中。何回やっても出口の見えないルーチンワークに、精神が参ってしまいそうだった。
このままではいけない、日常から離れてリセットしよう！と思い立った彼。しかし、今はスケジュールにまったく余裕のない状態で、
遠出はとても無理。
ふと、以前大学のサークルで行った能古島を思い出した。船で行ける距離で、ちょっとした旅気分も味わえるはずだ。
そうと決まれば、ということで島へ向かった彼。しかし、船の待合所で今にも海へ身を乗り出そうとしている女性を見かける。
これが、彼女との出会いだった。

＜Ver.1.2より追加のシナリオ＞

<table>
<tr><td rowspan="4">天神萌え巡り</td><td>みどころ</td><td>福岡市天神は、実は知る人ぞ知るサブカルチャーの集合地でもあります。
その代表ともいえるスポットを巡るルートです！
海外でも評価の高い「MOE」「OTAKU」文化、ご存知な方はもちろん、ちょっと興味のあるという方は、是非覗いてみてはいかがでしょうか。きっと、知らない世界が待っています。</td></tr>
<tr><td>難易度（5段階）</td><td>★</td></tr>
<tr><td>所要時間</td><td>1時間～1時間半</td></tr>
<tr><td>ルート</td><td>アニメイト福岡天神店→とらのあな福岡店→まんだらけ福岡店</td></tr>
</table>

【ストーリー】
大学生になったばかりの「村山ヒロシ」。サークル勧誘の波を急いですり抜けていると、急に前を横切った人とぶつかってしまった。
「にゃあ！」「！！　ネ、ネコミミ！？」
ぶつかってしまったのは、ネコミミを付けた「ミサ」という先輩。彼女が所属する「モエ研」なるサークルに勧誘されたものの、
「萌え」などは考えたこともないヒロシ。もちろん断るつもりだったのだが、ミサ先輩の上目づかいと、ぴくぴく動く不思議な
ネコミミの力によって、思わず「萌え文化見学ツアー」をOKしてしまう。萌えにまつわる場所をミサ先輩と巡るというものだ。
その結果次第で、入部を決めて欲しいという。果たして彼は、萌えというものを理解し受け入れることができるのか！？

<table>
<tr><td rowspan="4">駅から始まる
小さな異世界</td><td>みどころ</td><td>どんどん開発が進む、福岡市。博多駅もすっかり新しくなりました。
しかし、その周辺には近代化とはかけ離れた、ちょっとした異空間があることをご存知ですか？
常に新しい風が吹き込む博多と、昔から変わらない世界を保ち続ける博多。
少しだけ足を伸ばして、この境界を体験してみませんか？
時間がかからない所も、このルートの魅力の一つです。</td></tr>
<tr><td>難易度（5段階）</td><td>★</td></tr>
<tr><td>所要時間</td><td>1時間～1時間半</td></tr>
<tr><td>ルート</td><td>鉄道神社（JR博多シティ）→龍宮寺→東長寺</td></tr>
</table>

【ストーリー】
あまりにも普通のサイクルの毎日、こんな日々がずっと続くのだろうと無気力に考えていた。博多駅がリニューアルするまでは。
いつも同じ日常を過ごしていた彼にとって、この出来事はとても意味のあるものだった。いつもより遠回り、寄り道をして、
「非日常」を探す日々。それはとても有意義なものだった。
そんなある日、とっておきの非日常が彼に訪れる。足元に転がってきた琥珀の帯留めと、着物の美女。
その出会いが、摩訶不思議な体験を彼に呼び込んだのだった。

<table>
<tr><td rowspan="4">あなたの知らない
大濠公園</td><td>みどころ</td><td>福岡でおそらく最も有名な公園、大濠公園。
この大濠公園を舞台に、少しの冒険をしてみませんか？
有名な場所でも、知っているつもりで知らない事が意外にあるのです。
主人公と共に謎を解きながら、是非お楽しみください。</td></tr>
<tr><td>難易度（5段階）</td><td>★★</td></tr>
<tr><td>所要時間</td><td>1時間～2時間</td></tr>
<tr><td>ルート</td><td>？？？→？？？→？？？（全て大濠公園周辺）</td></tr>
</table>

【ストーリー】
「えっ、大濠公園！？」
折角の1ヶ月ぶりのデートの場所に上がった候補が、高校時代毎日通っていた大濠公園と言われ、思わず声を上げてしまう。
彼女に、大濠公園はもう満喫し尽くしたと訴えると、一転。彼女の様子が変わった。
「ほんとに、大濠公園のことは知り尽くしているっていうの？」まるでいたずらっ子のような言い方。
なんと、本当に大濠公園の事を知っているか、「大濠公園周辺についてのクイズを出す」と言う。
それが解ければ、大濠公園をデートの場所に言わないし、ご馳走までしてくれるそうだ。
初めて見る楽しそうな様子の彼女と、一風変わった謎解きデート。どんなものになるのだろう！